香美市キャリアチャレンジデイ

On Line Meets

▲キャリアチャレンジデイ On Line Meetsの様子（令和５年度）

平成２５年度から、香美市内の全小中学校が、市内の豊かな教育資源（人・自然・伝統・産業・保育所から大学まである環境など）を活かして「キャリア教育」に取り組んでいます。キャリアチャレンジデイは、その一環として市内の中学生を対象に行っているプログラムです。

令和元年度までは、高知工科大学を会場に、地域の皆さんに協力していただき、鏡野中学校、香北中学校、大栃中学校の１・２年生が一同に集まって開催していました。令和３年度からはコロナ禍での新たな実施形態として、各中学校を会場にオンラインでつながる「キャリアチャレンジデイ On Line Meets」を開催し、昨年度そして今年度はオンラインと対面によるハイブリッド形式で開催しました。

〜 キャリアチャレンジデイのねらい 〜

生徒が様々な業種、職種の方々と出会い、話を聞くことで、「職業の役割とそれに必要な能力との関係」について考えるとともに、出会った人々の生き方や考え方に触れる。

９月８日に行われた「香美市キャリアチャレンジデイ」は、市内の中学２年生の約１６０名が各校を会場に、午前の部は企業６社とオンラインでつながり、午後の部は地元講師による対面授業をするという二部構成で実施しました。

７月から始まった事前学習では、中学生が１人１台タブレットを活用し、「働くこと」について意見交換をしたり、参加企業について調べたりして、講師への質問を考えました。

当日は、各講師が、会社や働く人の「意志」「役割」「能力」について、分かりやすく、興味がわく内容で話をしてくれました。

生徒は、熱心に講師の話に耳を傾け、質問もしながら、社会で働く人の姿や思いを感じ取ることができたと思います。企業講師、地元講師それぞれのお話の中から、共通点を見出し、将来についての考えを持つうえで、大切な視点や考え方に気づき、生き方について学ぶことができました。

キャリアチャレンジデイを通して、気づいたことや学んだことを、自分自身のこれからの生き方につなげていってもらいたいと思います。

そして来年度には、さらにたくさんの方々に、キャリアチャレンジデイへご参加いただけるようになることを願っています。

意志
経営についての考え方・目標・やりとげる気持ち

役割
企業・団体が社会で担う役割

能力
役割を果たし、目標を達成するために必要な知識・技能

▲ 社会における『意志・役割・能力』の関係

【午前の部】オンライン参加企業

ソニーグループ（株）・カシオ計算機（株）・川崎重工業（株）・野村ホールディングス（株）
阪急阪神ホールディングス（株）・住友ファーマ（株）

【午後の部】企業・地元講師の皆さん

① 【鏡野中学校会場】
講師：（株）なかよしライブラリー　下司さん

② 【鏡野中学校会場】
講師：高知地方検察庁　筒井さん

③ 【鏡野中学校会場】
講師：（株）PlastiFarm（プラスティファーム）　白米さん

④ 【鏡野中学校会場】
講師：関西ブロードバンド（株）　三須さん

⑤ 【鏡野中学校会場】
講師：（有）まるさん三谷染工場　三谷さん

⑥ 【香北中学校会場】
講師：日本航空（株）　谷口さん

⑦ 【香北中学校会場】
講師：ヘルパーステーション八王子
岡村さん・石川さん

⑧ 【香北中学校会場】
講師：高知海上保安部　安積さん・松尾さん

⑨ 【大栃中学校会場】
講師：IT企業　眞鍋さん

事前学習の様子

「働く」とはどういうことか今の自分の考えを出し合い、意見交換をしました。そしてどんな職業があるのか、また職種と業種のちがいについても学習しました。

自分が希望する企業の情報をインターネットで調べ、質問する内容を考えています。

企業への質問を、各自がタブレットに入力し、グループで共有しています。